



吉舎B&G海洋センターろ過機更新工事設計図

MEMO			有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472 広島県知事登録 (19 (1) 第3940号) FAX 0847-67-3808	図面名 表紙		工事名 吉舎B&G海洋センターろ過機更新工事 設計図				
				縮尺 —	製作日	1級建築士 第111572号	永井秀昭 		No. M - O	

工 事 概 要

工事名称	吉舎B&G海洋センターろ過機更新工事	
発 注 者	住 所	広島県三次市十日市中二丁目8番1号
	氏 名	三次市長 福岡 誠志
施設概要	施設名称	吉舎B&G海洋センター
	地名地番	三次市吉舎町三玉522番地1 地内
	建物用途	公営プール
	工事の種類	更新工事
	構 造	S造
	階 数	平家建

工事概要

本工事は、吉舎B&G海洋センターろ過機更新工事です。

既設機器の更新工事の為、事前に現地をよく確認したのち技術的内容を記載した施工計画書、施工図を作成してください。

また、工事手順、安全対策騒音対策等の内容を記載した安全計画書を作成し係員の承諾を得て工事に着手してください。

尚、下請協力業者及びメーカーは実績のあるものとし係員の承諾を得るものとします。別紙仕様書、設計図等により入念に施工を行ってください。不明な点は係員と協議を行いその指示によってください。

I. 工事工程等

①事前に関係者（施設管理者・地域振興課・設計事務所・協力業者等）と協議を行い、詳細工程表及び総合仮設計画書を作成し、承諾を得た後工事に着手してください。

②全体の工期は入札要綱の通りです。

II. 工事中の移動及び復旧

①工事等の支障になる物の移動及び復旧等は全て工事請負業者の負担で行ってください。

【 注意事項 】

※ 別紙提示の内訳明細書の取扱いについて

現場説明書及び設計図を最優先とし、内訳明細書はあくまでも参考資料としてください。

入札に先立って入札参加者において数量を算出し、それに基づいて入札価格を決定し入札に臨んでください。

尚、内訳明細書の数量等に疑義がある場合は入札前の所定の期間内に協議書を提出ください。

【 指示事項 】

①工事に必要な諸官庁その他への手続きは一切請負者に行うこと。

②工事車両等の運行については、交通安全に最善の注意を払うこと。

万一事故等が発生した場合は、担当者に連絡するとともに請負業者で解決を図ること。

③火災等発生しないよう最善の注意をすること。

万一火災等での損害は、請負者で負担願う事になるので、工事の出来形（可燃部分）に応じ火災保険を締結して保険証書を提出すること。

その最終保険契約期間は、完成日より20日間延長した期日とすること。

尚、敷地内は全て禁煙とする。

④振動・騒音等には十分な対策を講じて工事を行うこと。もしこれらに関する注意及び苦情の申し出があった場合は、請負者において解決を図ること。

⑤作業場は常に整理整頓を心掛け、毎日作業終了後清掃を行うこと。

⑥着手届けに添付する工程表は、綿密な計画によって作成すること。
毎日最低1回は工程表の見直しを行い、7日以上が遅れが生じた場合は再度工程表を作成提出し係員の承認を得ること。

⑦既存設備を使用する場合は、事前に使用願いを提出し承認を得ること。
この場合有料とするので、係員の指示に従い速やかに納付すること。

⑧図面を製本し提出すること。
・A4版 2 部（表紙付、契約用）
・A3版 部（現場用）
◎A4版 3 部（現場用）

⑨不明な点については、係員と協議の上施工すること。

⑩解体撤去及び産業廃棄物の処分については、関係法令に基づき届け等を含め、適切に処分すること。必要に応じてマニフェストを提出すること。

⑪ 既設建物前の歩道は通学路の為車両等の出入り時には安全に注意すること。

提出書類一覧

※提出書類はA4にて製本の事

工事名	吉舎B&G海洋センターろ過機更新工事		請負業者			
	項 目	部数	提出期日	提出月日	備 考	
○	1 着手届（発注者書式）	3	契約時	月 日	設計監理者にも提出の事	
○	2 主任技術者・監理技術者・現場代理人届	3	契約時	月 日	設計監理者にも提出の事	
○	3 同上経歴書（書式は自由）	3	契約時	月 日	免許証等（写し）添付	
○	4 工事工程表	3	5日以内	月 日	A4版程度	
○	5 詳細基本工程表	3	5日以内	月 日	A3版程度	
○	6 見積書（請負者が算出した数量による内訳明細書）	3	5日以内	月 日	A4版ファイル	
○	7 施工体系図（工事内容、金額記入）	3	随 時	月 日		
○	8 下請業者名簿	3	各工事着手前	月 日	施工体制台帳等共	
○	9 主要資材購入先名簿	3	資材搬入前	月 日		
○	10 期間別工事工程報告書	3	毎月2回	月 日	現況写真添付のこと	
○	11 工事進捗状況報告書	3	毎月2回	月 日	現況写真添付のこと	
	12 鉄筋及び鉄骨試験表	3	随 時	月 日	ミルシート等	
	13 コンクリート調合表	3	随 時	月 日		
	14 コンクリート圧縮試験表	3	随 時	月 日	1週4週	
○	15 施工図・製作図・承認図	3	随 時	月 日		
○	16 各種計画書	3	随 時	月 日		
○	17 工事写真	3	毎月2回	月 日	最終はCDデータ	
○	18 火災保険証の写し	3	着工前	月 日	工期の20日延長	
○	19 質疑回答	3	必要に応じて	月 日		
○	20 工事材料搬入・検査報告書	3	随 時	月 日		
○	21 各種試験成績書	3	随 時	月 日		
○	22 機能及び性能試験成績書	3	随 時	月 日		
○	23 材料出荷証明書	3	随 時	月 日		
	24 塗装関係の使用量の報告書	3	完了時	月 日		
	25 アスファルト調合表、試験表	3	随 時	月 日		
	26 工程指定の報告書（法 第12条3項）	3	随 時	月 日	写真添付のこと	
○	27 工事打合簿	3	随 時	月 日		
○	28 社内検査表	3	完了時	月 日		
○	29 竣工図（文字入り製本・A3版及びA4版）	3	完了時	月 日	原図を訂正のこと	
○	30 各工事保証書	3	完了時	月 日		
	31 鍵番号表	3	完了時	月 日		
	32 電気絶縁抵抗試験表	3	完了時	月 日		
	33 テレビ共聴電解強度試験表・画面解像度表	3	完了時	月 日		
	34 接地抵抗試験表	3	完了時	月 日		
○	35 水圧試験報告書	3	完了時	月 日		
	36 ガス気密試験報告書	3	完了時	月 日		
	37 電気メーター指針表	3	完了時	月 日		
	38 水道メーター指針表	3	完了時	月 日		
	39 ガスメーター指針表	3	完了時	月 日		
○	40 完成写真（撮影箇所は監督員の指示による）	3	完了時	月 日	CDデータ	
○	41 総合仮設計画書（安全計画書含む）	3	5日以内	月 日	A3版程度の図面添付	
○	42 上記以外に発注者、監督員の指示によるもの	3	随 時	月 日		
○	43 提出書類綴込み用空ファイル	3	5日以内	月 日	10cm用程度	
○	44 退職金共济制度	3	随 時	月 日		
○	45 再生資源利用計画書・産廃報告	3	完了時	月 日		
○	46 安全実施報告書（KY等）	3	随 時	月 日		
○	47 社会保険等	3	随 時	月 日		

ろ過機は（架台共）国交省告示内の耐震基準関係法令に適合する製品とし事前に関係資料等を提出し監督員の承諾を得ること

MEMO



有限会社 永井一級建築士事務所

広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL0847-67-2472
広島県知事登録（19(1)第3940号） FAX0847-67-3808

図面名

工事概要・付近見取図

縮尺

—

製作日

工事名

吉舎B&G海洋センターろ過機更新工事 設 計 図

1級建築士
第111572号

永井秀昭



No. M - 1

I 工事概要

1 工事名称

吉舎B&G海洋センターろ過機更新工事

2 建築場所

三次市吉舎町三玉522番地1 地内

3 主要用途

・公営プール

4 工事種別

・更新

5 構造階数

・S造平家建

6 工事種目

1. 建築工事 一式
2. 電気設備工事 一式
3. 機械設備工事 一式
4. 上記に伴う工事 一式

II 建築工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工編）」（最新版）」（以下、「標仕」という。）

2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の（別 ）は（5. 3. 7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。
(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。
(6) □印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。
(7) 最低担保調査-建設工事請負契約約款に定める期間内

章

項 目

特 記 事 項

1 一般共通事項

① 適用基準等

○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官庁官庁営繕部建築課監修 平成22年版）
○建築鉄骨設計基準・同解説（建設大臣官庁官庁営繕部監修 平成10年版）
○工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修）

② 工事実績情報の登録

※適用する

(1. 1. 4)

③ 品質計画

○建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。
※風速（V₀=3.0）
※地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）
※積雪区分 告示第1455号 cm

(1. 2. 2)

④ 電気保安技術者

工事現場における電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
・要 ○不要

(1. 3. 3)

5 条件明示項目

(1. 3. 5)

⑥ 発生材の処理等

・引渡しを要するもの（ ）
・特別管理産業廃棄物（ ）
・現場再利用を図るもの（ ）
○再生資源化を図るもの
(・建設発生土 ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ○鉄くず)
○上記以外 1. 1. 13 (b) (5). 及び監督職員との協議による。
(1) 建設工事（解体撤去工事も含む）から発生する建設廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し、建設副産物適正処理推進要綱に基づき適正に処理すること。
また、元請け業者は、本工事により発生する特定建設資材廃棄物（特定建設資材（コンクリート、アスファルト、コンクリート及び木材）が廃棄物になったもの）については建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」）及び「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」以下「廃掃法」）を遵守し、適正に処理すること。
(2) 元請け業者は、謝け負った建設工事の全部若しくは主たる部分及び他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事以外の部分を他の建設業を営む者に譲け負わせようとする時は、当該他の建設業を営むものに対して、建設リサイクル法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第9号までに掲げる事項について告知すること。
(3) 建設工事の元請け業者は、「建設廃棄物処理施工計画書」、「再生資源利用計画書及び「再生資源利用促進計画書」のとおり建設廃棄物が適正に処理されたことを確認するとともに、必要に応じて現地に於いて現地による確認、立入検査を行うこと。
(4) 提出書類
①元請け業者は、工事着手前に、次の書類を監督員に提出すること。
○建設廃棄物処理施工計画書
以下の書類を添付すること。
ア 廃棄物処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分）の許可の写し
イ 選搬ルート及び処分場の位置、事業の範囲、処理能力、処理方法を明示したものと。
ウ 処分場の現地確認写真
エ 建設工事の元請け業者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分）との2名の業務委託契約書の写し
○再生資源利用計画書 ○再生資源利用促進計画書

9 特別な材料の工法

9

10 技能士

10

11 化学物質の濃度測定

11

⑦ 建築材料等

⑧ 化学物質を放散する建築材料等

②元請け業者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び建設廃棄物処理施工計画書にに従い建設廃棄物及び特定建設資材が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督員に提出すること。
○再生資源利用実施書 ○再生資源利用促進実施書
以下の書類を添付すること。
ア マニフェスト（産業廃棄物管理票）A・D・E集の写真及び再生資源化に係るものについては、受入伝票の写し（マニフェストは原則として厚生労働省が示す全国統一のマニフェストを使用）
イ 収集、運搬の写真、中間処理場・最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への処分の状況、状況の写真
(5) 本工事で発生した建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市広島市、呉市、福山市が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設で処理すること。
(6) 本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前記（5）に掲げ施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。
(7) 産業廃棄物の処理に係る税について、本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので適正に処分すること。
なお、本工事では広島県産業廃棄物埋立税相当額を見込んでいる。
(8) 本工事は、建設副産物情報交換システム（（財）日本建設情報総合センター）の登録建設工であり、関係者は施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの入力を行うものとする。
また、再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書について、当該システムにより作成され、施工計画書に添付すること。なお、これにより難い場合は、監督員と協議すること。

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとしJIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。
(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること
(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
(3) 安定的な供給が可能であること
(4) 法令等で定められた許可、認可、認定又は免許等を取得していること
(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの確となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会「建築資材等評価名簿」）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りではない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承認を受けると。
使用する材料・製品はアスベストが含有しないものとすること。
本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の（1）から（5）を満たすものとする。
1 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗料及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放出しないか、放散が極めて少ないものとする。
2 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放出しないか、放散が極めて少ないものとする。
3 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない 難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放出しないか、放散が極めて少ないものとする。
4 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放出しないか、放散が極めて少ないものとする。
5 1）、3）及び4）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他機器等は、ホルムアルデヒドを放出しないか、放散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
規制対象外
① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
② 建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品
③ 下記表示のあるJAS規格品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放出しない材料使用
d. ホルムアルデヒドを放出しない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放出しない塗料使用
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放出しない塗料等使用
第三種
① JIS及びJASのF☆☆☆規格品
② 建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品
③ 旧JISのE₀c規格品
④ 旧JASのF₀c規格品
標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工（鉄筋組立て作業）
コンクリート工事	・型枠施工 ・コンクリート泵送施工
防水工事	・とび（フル取付）
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築 ・ALCパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・ウレタン防水工事作業 ・シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工（石張り施工）
タイル工事	・タイル張り
木工工事	・建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金（内外装板金作業）
金属工事	・内装仕上り施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	・左官
建具工事	・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工
塗装工事	・塗装（建築塗装作業）
内装工事	・プラスチック床反仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・表装（壁装作業）
植栽工事	・造園

(1. 5. 2)

(1. 5. 9)

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告すること。
測定はアクティブ型採取測定機器により行う。
着工前の測定 ・行う
測定対象室 ・図示 ・新築建物全て
測定箇所数 ・図示 ・お所
・文部科学省が定める指針値以下であることを

報告の様式等については、現場説明書による。

⑨ 完成図等

※作成する ・作成しない
※完成図（CADデータ共） 提出部数 ※各3部 ・部
設計原因を訂正の上、提出する。
※A2版2ツ折張り合せ製本 3部
※A3版2ツ折張り合せ製本 3部
※施工図 提出部数 ※3部 ・部
※安全に関する資料 提出部数 ※3部 ・部
下記のものを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影面数	提出部数	原稿の大きさ（mm）
○カラー ※キャベナビ版 ※べた模 ※他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャベナビ版）提出	外部（1）外構（ ） 内部（3）	※3	※100×125以上
※カラー半切木製パネル 324×400（mm）	外部（ ）内部（ ）	※2	
○電子データ	外部（1）内部（各室3枚） 外構（ ）	※3	※1000画面以上 ※300dpi以上

⑩ 完成写真

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。
※図示 ○設計G/L=現状G/L（既設建物に準ずる）
○「営繕工事電子納品要領（案）（平成14年11月改訂版）」による。
=監視工事=全機被査室=完請け業者=監視施工業者の建造=○保証期間：2年 ○/ホ保証共

2 仮設工事

① 監督職員事務所
規模及び仕上り程度の現場説明書による ・指示による ○図けない (2. 3. 1)
② 工事用水
構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる（※有償 ・無償） (2. 3. 1)
③ 工事用電力
構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる（※有償 ・無償） (2. 3. 1)

3 土工事

1 埋戻し及び盛土
種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (3. 2. 3) (表3. 2. 1)
・建設汚泥から再生した処理土 □
2 建設発生土の処理
・現場説明書による ・構外搬出適切な処理 (3. 2. 5)
・構内指示の場所にたい積 ・構内指示の場所に敷き均し
・建物周囲は、真砂土厚100cm敷き込み上転正地のこと。 (2m範囲)（保育所側）
3 整地
種別
※高強度プレストレストコンクリート杭
・図示
試験杭
杭径（mm） 杭長（m）及び種別 継手数 セット数 備考
本 杭
杭頭処理 ※切断しない (4. 3. 7)
先端部形状 ※開放形 ・閉そく平たん形 (4. 3. 2)
杭の継手 建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。 (4. 3. 6)
施工法 (4. 3. 3～5)
・特定埋込み杭工法
工法 ・プレボーリング拡大掘削工法 ・中掘拡大掘削工法
H13国交告1113号第6による支持力算定式でα=250程度を採用できる工法
杭周固定液 ・使用する

4 地業工事

1 既製コンクリート杭地業
※高強度プレストレストコンクリート杭
・図示
2 場所打ちコンクリート杭地業
コンクリートの種別及び設計基準強度 (4. 5. 3) (表4. 5. 1)
()種かつ（21）N/mm²以上
鉄筋の種類 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による (4. 5. 3)
配筋工法 ・アースドリル工法（・安定液使用 ・無水配筋） (4. 5. 4)
・リバース工法
・オールケーシング工法（孔内の水漏 ・行 ・行わない）
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 (4. 5. 5)
・拡張杭工法（※安定液使用 ・ ）
・深礎
側壁測定 ・行（ ） ・行わない (4. 5. 4)
セメントの種類 6章コンクリート工事のセメントの種類による
・別図参照
2A 鋼管杭
3 砂利地業
※再生クラッシュサン □ ・切込み砂利及び切込み砕石 ・図示 (4. 6. 3)
3 砂利地業
※再生クラッシュサン □ ・切込み砂利及び切込み砕石 ・図示 (4. 6. 6)

5 鉄筋工事

1 鉄筋の種類
(5. 2. 1) (表5. 2. 1)

種類の記号	呼び名（mm）
・SD295A	※D16以下
・SD345	※D19～D25
・SD390	※D29以上
・溶接金鋼	

呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ○重ね継手 (5. 3. 4)
最小かぶり厚さは地底面から算定する。
・全ての箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。 (5. 3. 5)

施工箇所	横仕表6. 3. 6の値に加える寸法（mm）
・構造参照 ・基礎	※10 ・20

6 鉄筋の継手

3 鉄筋の最小かぶり厚さ

4 鉄骨工事

1 鉄骨の製作工場
製作工場の加工能力
・監督職員の承認する製作工場
・建築基準法第77条の4第5項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（後）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鋼構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（Ⅲ）グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。
入熱、バス間温度の溶接条件
適用箇所 ・図示 ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件
※図示
適用する (7. 1. 4)
鋼材の材質 (7. 2. 1) (7. 2. 10) (表7. 2. 1)

種類の記号	使用箇所	規格等
SS400	鋼構（形鋼）	※JIS規格による
STC400		※JIS規格による
STKR400		※JIS規格による
SNR400B		※JIS規格による
		※JIS規格による
	※ 構造図を参照	

改良型スカラップ
鋼製エンドタブ
切断する箇所（・図示による）
※ルシニア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト (7. 2. 2) (7. 12. 4)
検査水準 ※4. 0% ・2. 5% (7. 6. 11) (表7. 6. 2)
※第6水準 ・図示
試験の種類 試験箇所 試験方法
※超音波探傷試験 完全溶け込み溶接部 ※横仕7. 6. 11 (b)による
・放射線試験
・マクロ試験
・別図参照

7 溶接部の試験

溶接部の試験

4 既製コンクリート杭の杭頭補強

※図示
5 最上階柱頭補強 ※行 ・行わない (別2. 1)
6 帯筋 ※H形 ・図示（構造図） (別2. 2)
7 床開口部の補強 ※A形 ・B形 ・図示（構造図） (別4. 2) (別表4. 3～4)
8 梁貫通孔の補強形式（基礎共） ※H形 ・MH形 ・M形 ・評定品 ・図示（構造図） (別7. 1) (別表7. 1～3)
9 機械吊上げ用フック ・A種 ・B種 ・C種 （ ） (別7. 3)
10 圧接完了後の試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験 (5. 4. 9)
11 その他 ・構造仕様書を優先とする

6 コンクリート工事

1 普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度F _c （N/mm ² ）	施工箇所
○21+温度補正	建物基礎、立上り、土間
・18	柱、すべり
・24	上部躯体
※ 構造図を参照	

※発注強度は上記設計基準強度+S（構造体強度補正値）とする。
2 レディーミクストコンクリートの類別 ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 (6. 1. 5) (6. 4. 1～2) (表6. 1. 1)
3 スランプ 工作物のスランプ 15又は18cm（建物躯体はS-01図参照） (6. 2. 3)
4 セメントの種類 (6. 3. 2) (6. 13. 2) (6. 16. 2) (表6. 3. 1)
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種（但し、シリカセメントを除く）
・高炉セメントB種 □（ ）
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱	7 d 352 J/g 以下
	28 d 402 J/g 以下

5 骨材の種類 アルカリシリカ反応による区分 (6. 3. 3) (6. 5. 4)
※A
・B（※コンクリート中のアルカリ総量R_t=3. 0kg/m²以下）
6 混和材料 ※混和剤 ・混和材 (6. 3. 5) (6. 4. 8)
7 無筋コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm² ○手練り (6. 14. 3)
8 コンクリート躯体表面の処理 外装タイル後張り面の躯体表面の処理
MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面凹凸状態とする。高圧水洗工法の目視を行う場合は、水圧50N/mm²以上かつ、2. 5分/m²以上とし、施工計画書を監督に提出し承認を受ける。また、目視の状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。
・コンクリートの増打り厚さ ※20mm
※施工範囲は図示による。
9 断熱材用型枠 適用及び適用箇所について
横仕19章内装工事14断熱材による。
塗装の有無 ○無し ・有り
普通コンクリートの水セメント比は65%以下とする。
10 型枠 11 水セメント比

7 鉄骨工事

1 鉄骨の製作工場
製作工場の加工能力
・監督職員の承認する製作工場
・建築基準法第77条の4第5項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（後）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鋼構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（Ⅲ）グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。
入熱、バス間温度の溶接条件
適用箇所 ・図示 ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件
※図示
適用する (7. 1. 4)
鋼材の材質 (7. 2. 1) (7. 2. 10) (表7. 2. 1)

種類の記号	使用箇所	規格等
SS400	鋼構（形鋼）	※JIS規格による
STC400		※JIS規格による
STKR400		※JIS規格による
SNR400B		※JIS規格による
		※JIS規格による
	※ 構造図を参照	

改良型スカラップ
鋼製エンドタブ
切断する箇所（・図示による）
※ルシニア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト (7. 2. 2) (7. 12. 4)
検査水準 ※4. 0% ・2. 5% (7. 6. 11) (表7. 6. 2)
※第6水準 ・図示
試験の種類 試験箇所 試験方法
※超音波探傷試験 完全溶け込み溶接部 ※横仕7. 6. 11 (b)による
・放射線試験
・マクロ試験
・別図参照

8 鉄骨工事

2 施工管理技術者
適用する (7. 1. 4)
3 鋼材
鋼材の材質 (7. 2. 1) (7. 2. 10) (表7. 2. 1)

種類の記号	使用箇所	規格等
SS400	鋼構（形鋼）	※JIS規格による
STC400		※JIS規格による
STKR400		※JIS規格による
SNR400B		※JIS規格による
		※JIS規格による
	※ 構造図を参照	

改良型スカラップ
鋼製エンドタブ
切断する箇所（・図示による）
※ルシニア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト (7. 2. 2) (7. 12. 4)
検査水準 ※4. 0% ・2. 5% (7. 6. 11) (表7. 6. 2)
※第6水準 ・図示
試験の種類 試験箇所 試験方法
※超音波探傷試験 完全溶け込み溶接部 ※横仕7. 6. 11 (b)による
・放射線試験
・マクロ試験
・別図参照

9 鉄骨工事

4 スカラップ
5 エンドタブ
切断する箇所（・図示による）
※ルシニア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト (7. 2. 2) (7. 12. 4)
検査水準 ※4. 0% ・2. 5% (7. 6. 11) (表7. 6. 2)
※第6水準 ・図示
試験の種類 試験箇所 試験方法
※超音波探傷試験 完全溶け込み溶接部 ※横仕7. 6. 11 (b)による
・放射線試験
・マクロ試験
・別図参照

10 鉄骨工事

6 高力ボルト
※ルシニア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト (7. 2. 2) (7. 12. 4)
検査水準 ※4. 0% ・2. 5% (7. 6. 11) (表7. 6. 2)
※第6水準 ・図示
試験の種類 試験箇所 試験方法
※超音波探傷試験 完全溶け込み溶接部 ※横仕7. 6. 11 (b)による
・放射線試験
・マクロ試験
・別図参照

11 鉄骨工事

7 溶接部の試験
溶接部の試験

MEMO

有限会社 永井 一級建築士事務所

広島県三次市甲奴町本郷850-8 T E L 0847-67-2472
広島県知事登録（19(1)第3940号） F A X 0847-67-3808

図面名

建築工事特記仕様書（1）

縮尺

製作日

工事名

吉舎B&G海洋センターろ過機更新工事 設計図

1級建築士 第111572号 永井秀昭

No. M - 2

鉄骨工事 (構造設計標準仕様による)	8	耐火被覆	(7. 9. 2～6)	3	合成高分子系 ルーフィングシート 防水	(9. 4. 2～3) (表9. 4. 1)	12	木工事	1	木材の品質	(12. 2. 1)	15	左官工事	①	モルタル塗り材料	(15. 2. 2)
	9	アンカーボルトの保持 及び埋込み工法	(7. 10. 3) (表7. 10. 1)	4	塗膜防水	(9. 5. 2～3) (表9. 5. 1～2)	13	屋根及び といた工事	2	樹種	(12. 2. 1) (表12. 2. 3)	16	建築工事	②	床コンクリートの 直均し仕上げ	(15. 3. 1～2)
	10	柱底均しモルタル工法	(7. 10. 2)	5	シーリング	(9. 6. 2) (表9. 6. 1)	14	金属工事	3	集成材等	(12. 2. 2)	17	建築工事	3	仕上塗材仕上げ	(15. 5. 2) (表15. 5. 1)
	11	溶融亜鉛めっき工法	(7. 12. 3) (表14. 2. 2)	10	天然石張り	(10. 2. 1) (表10. 2. 1～2)	15	金属工事	1	長尺金属板金	(13. 2. 2～3) (表13. 2. 1)	18	建築工事	③	建築工事	(16. 1. 4)
	8	1 補強コンクリート ブロック造	(8. 2. 2)	11	陶磁器質タイル	(11. 2. 1)	16	金属工事	2	折板金	(13. 3. 2～3) (表13. 2. 1)	19	建築工事	4	鋼製建具	(16. 3. 2) (表16. 3. 1)
	9	2 コンクリートブロック 杭壁及び壁	(8. 3. 2)	12	張り付け用材料	(11. 2. 1)	17	金属工事	3	鋼の至距めっき	(14. 2. 3) (表14. 2. 2)	20	建築工事	5	鋼製軽量建具	(16. 4. 2)
	10	3 ALCパネル	(8. 4. 2～6) (表8. 4. 3～4)	13	壁タイ尔張りの工法	(11. 3. 3) (表11. 3. 2)	18	金属工事	4	アルミニウム及び アルミニウム合金 の表面処理	(14. 2. 2) (表14. 2. 1)	21	建築工事	6	ステンレス製建具	(16. 5. 4)
	11	4 押出成形セメント板 (ECP)	(8. 5. 2～6) (表8. 5. 1～2)	14	4 陶磁器質タイル型枠 先付け工法	(11. 4. 1)	19	金属工事	5	アルミニウム製木	(14. 7. 2) (表14. 2. 1) (表14. 7. 1)	22	建築工事	7	自動ドア開閉装置	(16. 8. 2～3) (表16. 8. 1～3)
	9	1 アスファルト防水	(9. 2. 2～3) (表9. 2. 3～8)	15	3 壁タイ尔張りの工法	(11. 3. 3) (表11. 3. 2)	20	金属工事	6	手すり及びタラップ	(14. 2. 1) (14. 8. 2～3) (表14. 2. 2)	23	建築工事	8	自閉式上吊り引戸装置	(16. 9. 2～3)
	10	2 改質アスファルト シート防水	(9. 3. 2～4) (表9. 3. 1)	16	4 陶磁器質タイル型枠 先付け工法	(11. 4. 1)	21	金属工事	7	手すり及びタラップ	(14. 2. 1) (14. 8. 2～3) (表14. 2. 2)	24	建築工事	9	木製建具	(16. 6. 2)
11	3 改質アスファルト シート防水	(9. 3. 2～4) (表9. 3. 1)	17	5 陶磁器質タイル型枠 先付け工法	(11. 4. 1)	22	金属工事	8	手すり及びタラップ	(14. 2. 1) (14. 8. 2～3) (表14. 2. 2)	25	建築工事	10	木製建具	(16. 6. 3)	

MEMO	有限会社 永井 一級建築士事務所		図面名	建築工事特記仕様書 (2)	工事名	吉舎B&G海洋センターろ過機更新工事 設計図		
	広島県三次市甲奴町本郷650-8 T E L 0847-67-2472					1級建築士 第111572号	永井秀昭	No. M - 3
	広島県知事登録 (19(1)第3940号) F A X 0847-67-3808							

16 建築工事 10 建築用金物 11 ガラス 12 ガラス留め材及び溝 13 ガラス用フィルム 14 重量シャッター 15 軽量シャッター 16 オーバーヘッドドア 17 カーテンウォール工事 18 建築工事 19 内装工事 20 ユニツト及びその他の工事

10 建築用金物: マスターキー ※製作しない ※既設建築物に... (16. 7. 4) 建築用金物 (16. 3. 6) (16. 4. 6) 金物はシンダー端部 (レバーハンドル) とする。なお、錠前類は建築製作所の指定するものとす。監督職員の承認を受ける (16. 7. 2) 市金物 ・丁番 (内部建築については、軸を鉄金とてよい) ・ピボットヒンジ ・レバーハンドルは記入無き以外 US&ST とする ※建築表による (16. 13. 2) ・ガラスブロック 構造16. 13. 5による (16. 13. 5) 表面形状 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 ※クリア ※無し 防火性能 ・正方形 ・長方形 ・スリット・溝溝 ・カスミ ・有り

11 ガラス: ※建築表による (16. 13. 2) ・ガラスブロック 構造16. 13. 5による (16. 13. 5) 表面形状 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 ※クリア ※無し 防火性能 ・正方形 ・長方形 ・スリット・溝溝 ・カスミ ・有り

12 ガラス留め材及び溝: ガラス留め材 (16. 13. 2) (表9. 6. 1) 建築の種類 材 種 アルミニウム製 ※シーリング材 ・ガスケット (F1 X部はシーリング材) 鋼製及び鋼製結実 ※シーリング材 ステンレス製 ※シーリング材 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。 (16. 13. 3) 板ガラスをはめ込む溝の大きさ 構造16. 13. 3 以上のアルミニウム製器具及び板ガラスの場合は (社) 日本建築学会 JASS 17 ガラス工事「3. 1 納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する (16. 13. 3) 名 称 種 類 張り面 性能値 ※ガラス飛散防止フィルム ※2種 ※内張り ・外張り 飛散防止率 D1 ・図示 品質 JIS A 5759 による (16. 10. 2) シャッターの種類 ・一般重量シャッター 耐風圧性能 () N/m² ・外壁用防火シャッター 耐風圧性能 () N/m² ・壁内用防火シャッター 遮炎・遮煙 ・壁内用防煙シャッター 遮炎・遮煙 開閉機能 ※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式 (16. 10. 2) (表16. 10. 1) 危害防止機能 ※障害物感知装置 (自動閉鎖型) ・シャッターの二段降下方式 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない (16. 10. 2) 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用) (16. 11. 2) (表16. 11. 1) スラット 材質 ※塗装亜鉛めっき鋼板 ・鋼板 ○図示 (16. 11. 3) 形状 ※インターロック型 ・オーバーラップ型 (16. 11. 4) ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製 SUS304 (厚さ1. 5mm) (表16. 11. 2) 耐風圧性能 () N/m² セクション材料 開閉方式 収納形式 ガイドレール ※スチールタイプ ※バラン式 ・ステンダー形 ・滑輪巻上り型鋼板 ・アルミニウムタイプ ・チェーン式 ・ローヘッド形 ※ステンレス鋼板 ・ファイバーグラスタイプ ・電動式 ・ハイブリッド形 ・パーチカル形 (SUS304) 耐風圧性能 () N/m²

13 ガラス用フィルム: 設計図書による規定の他、特記無き事項は (社) 日本建築学会 JASS 14 による。 (17. 2. 2) カーテンウォール材料の種類 種 別 規格等 ※アルミニウム製 ※構造16. 2. 3 のアルミニウム製建築材料による

14 重量シャッター: カーテンウォール方式 ・方立方式 ・バックマリオ方式 (・単純2辺支持構造 ・SSG構造) ・スパンドレル方式 ・パネル方式 ・小型パネル組み合せ方式 (・ノックダウン方式 ・ユニット方式) シーリング材及びガラス取付け材料 下記以外は構造9. 6. 1による (9. 6. 2) (17. 2. 2) (表9. 6. 1) 被着体の組合せ 記 号 主成分による区分 耐久性による区分 金属 ガラス 石、タイル ガラス ガラス 構造用ガasket ※適用しない (17. 2. 2) ・適用する (施工箇所: 図示) 断熱材 ※適用しない (17. 2. 2) ・適用する (種類: 厚さ (mm): 施工箇所※図示) 製品の寸法許容差 ※構造表17. 2. 1による (17. 2. 3) (表17. 2. 1) ・製造所標準製作規定寸法許容差による アルミニウムの表面処理 (17. 2. 3) (表14. 2. 1) 種 別 色調等 ・A-1種 ・B-1種 無着色 ・A-2種 ・B-2種 ※ブラック系 ・ブラック ・ステンカラー ・着色塗膜 塗装材料 () 焼付け方法 () コート () ベーク 耐風圧性能 (17. 1. 3) 性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。 ・正圧 N/m² 以上及び負圧 N/m² 以上にして安全であること。 主要部材のたわみ 支点間距離 (h) たわみ量 状 態 ※各部の破壊、残存変形 有る変形が認められないこと ※4m以下 ※± (1/150) ×h かつ絶対量20mm以下 ・4mを超える 耐震性能 設計用震度 水平方向 (K_h) ※1. 0 垂直方向 (K_v) ※0. 5

15 軽量シャッター: 設計図書による規定の他、特記無き事項は (社) 日本建築学会 JASS 14 による。 (17. 2. 2) カーテンウォール材料の種類 種 別 規格等 ※アルミニウム製 ※構造16. 2. 3 のアルミニウム製建築材料による

16 オーバーヘッドドア: セクション材料 開閉方式 収納形式 ガイドレール ※スチールタイプ ※バラン式 ・ステンダー形 ・滑輪巻上り型鋼板 ・アルミニウムタイプ ・チェーン式 ・ローヘッド形 ※ステンレス鋼板 ・ファイバーグラスタイプ ・電動式 ・ハイブリッド形 ・パーチカル形 (SUS304) 耐風圧性能 () N/m²

17 カーテンウォール工事: 設計図書による規定の他、特記無き事項は (社) 日本建築学会 JASS 14 による。 (17. 2. 2) カーテンウォール材料の種類 種 別 規格等 ※アルミニウム製 ※構造16. 2. 3 のアルミニウム製建築材料による

18 建築工事: 1 材料 2 表地ごしらえ 3 床用塗料塗り 4 防塵用塗料塗り

19 内装工事: 1 接着剤 2 ビニル床シート張り 3 ビニル床タイル張り

20 ユニツト及びその他の工事: 1 フリーアクセスフロア 2 移動間仕切 3 移動間仕切 4 トイレブース 5 階段止め 6 階段手すり

1. 工事名称		吉舎B&G海洋センターろ過機更新工事		6. 工事項目		仕 様、工 事 内 容 及 び 工 事 区 分		6. 工事項目		仕 様、工 事 内 容 及 び 工 事 区 分		9. 凡 例									
2. 工事場所		三次市吉舎町三玉522番地1 地内		〇 幹線設備		施工範囲		設備				記 号		名 称		適 用		標準取付高さ			
3. 建物概要		・ R C ・ S R C 〇 S				まで。 盤類 (・ 含む ・ 含まず)						〇		照明器具		〇 コード吊 〇 壁付 〇 非常照明					
4. 主な用途		地下 階／地上 1 階／塔屋 階／ 延面積 m ²				電 圧						〇		照明器具		□ 〇 壁付 □ 〇 非常照明組込					
5. 一般事項		〇 公営プール																			
1) 適用基準等		本工事は設計図・特記仕様書によると共に、電気設備の技術基準、内線規程、消防法、建築基準法及び、その他関係法令・規則・条例に基づき、完全に施工するものとする。						電灯 ・ 1 φ 3 W 2 0 0 V (・ A C ・ G A C)				⊙		誘 導 灯		⊙ 誘導誘導灯は矢印を記入					
2) 疑 義		施工にあたり、疑義が生じた場合は、係員と協議すること。				西配線種別		電灯 ・ 1 φ 2 W V (・ A C ・ G A C)		設備		⊙		屋 外 灯							
3) 官公庁その他の手続		本工事に必要な官公庁への手続きは、請負業者ににて代行し、これに要する費用は、請負業者の負担とする。						直流 ・ 2 W V ・													
4) 工法の決定		施工者は、係員の承認なく、施工方法、使用材料及び使用機器を変更してはならない。 変更を行う場合は、速やかに変更図面を提出し、係員の承認を得た後に施工すること。		〇 動力設備		施工範囲		一般電灯動力 (・ 電線管 ・ ケーブル ・ バスダクト)				Ⓜ		コンセント		壁付 (2 P 1 5 A × 2) 他は口数表記		F L + 3 0 0			
5) 提出書類		下記の 〇 印の書類を係員に提出すること。 工事書類 〇 工程表 〇 メーカリスト 〇 承認図 〇 施工図 完成書類 〇 官公庁等への諸手続きの写し 〇 検査試験成績表 〇 取扱説明書 〇 工事記録写真 〇 竣工図						非常電灯動力 (・ 耐熱電線 ・ 耐火ケーブル)										和室 + 2 0 0			
6) 検 査		工事完成後、三次市、その他官公庁の各種検査に合格すると共に、監督員の検査に合格すること。						直 流 (・ 耐熱電線 ・ 耐火ケーブル)		〇 自動火災報知設備		受 信 機		・ 単独 ・ 複合 (・ 自立型 ・ 壁掛型)							
7) 特記事項		1) 工事項目は、番号の入っている設備項目を適用する。 2) 仕様、工事内容及び工事区分は、〇 印を付したものを適用する。 3) 機器の取付高さは、特に指示のない場合、標準取付高さによること。 4) (室名) で表示した部屋はスラブ天井を示し、その他は 2 重天井を示す。 5) 特記なき配管種別は P F 管とする。 6) 配線器具プレート (・ 樹脂 〇 新金属 〇 ステンレス ・) 7) 屋外防水ブルボックスは (〇 ステンレス ・ 亜鉛メッキ) 製とする。 8) 国土交通省大臣官房営繕部監修電気設備共通仕様書 (最新版)		〇 電灯コンセント設備		施工範囲		制御盤を (・ 含む ・ 含まず) 二次側端子接続より、 各動力負荷一次側接続まで。 インターロック配線 (・ 含む ・ 含まず) 自動制御配線 (・ 含む ・ 含まず) 警 報 盤 (・ 含む ・ 含まず) 警 報 配 線 (・ 含む ・ 含まず) 空調機器入替に伴う電源線の撤去・再接続対応とする。		受信機設置場所				P 型 級 (自火報 回線 / 防排煙 回線)		E C		専用接地		接地センター ⊕ 接地端子	
						配線器具等の取付まで。 ・ 大角連用型 ・ 図示による										・ スイッチ		・ 片切 〇 2 両切 〇 3 路 〇 4 路		F L + 3 0 0	
								インターロック配線 (・ 含む ・ 含まず)		〇 防排煙制御設備		制 御 盤		・ 単独 (回線) ・ 火災報知受信機組込		・ L		パイロットスイッチ		和室 + 2 0 0	
								自動制御配線 (・ 含む ・ 含まず)				制 御 対 象		・ 防火戸 ・ ダンパー ・ 防煙垂壁 ・ 排煙口		・ R		リモコンスイッチ		回路数は表記による	
								警 報 盤 (・ 含む ・ 含まず)						・ 排煙口 ・ シャッタ		⊕		リモコンセレクトスイッチ		確認ランプ付、点検表記	
								警 報 配 線 (・ 含む ・ 含まず)		〇 避雷設備		方 式		・ 突 針 ・ 棟上導体 ・		・ A		調 光 器		容量表記、F L は実光灯用	
								空調機器入替に伴う電源線の撤去・再接続対応とする。				仕 様 詳 細		・ 別図仕様書に依る		⊙		自動点滅器		特記なきは 3 A とする。	
																⊙		制御用スイッチ		〇 L F フロートレススイッチ (機能は表記)	
																⊗		換 気 扇		〇 F フロートスイッチ ⊙ P 圧カスイッチ	
																S		開 閉 器		容量は表記	
										7. 工事区分 (該当欄に 印で記します。)						⊗		電灯分電盤			
										項 目		電気		建築		機械		別途		備 考	
										電力会社・N T T に納入する負担金										建築主負担	
										テレビ受信のビル影障害調査及び補償費										〃	
										受電後、引渡し迄の電気基本料金及び使用料金						〇					
										コンクリート基礎 (・ キュービクル ・ 発電機						〇					
										・ 変圧器 ・ 盤類 ・ 外灯 〇 その他)											
										シンダーコンクリート打設工事											
										ピット工事 (緑金物、蓋共)											
				</																	

現況（撤去）

機械室平面詳細図 S=1:30

凡 例

記 号	摘 要
	配管及び機器撤去部分

撤 去 機 器 リ ス ト

名 称	仕 様	数 量
ろ過機	TS0-6型 鋼板製 砂方式 ろ過ポンプ 5.5kw. ヘヤーキャッチャー共	1
塩素滅菌装置	ネオクロリネーター SKC-12型 重量7.5kg	1
スラリータンク	100Lタンク	1
バルブ類		1
		1

改 修

機械室平面詳細図 S=1:30

凡 例

記 号	摘 要
	基礎増し打ち箇所

改 修 機 器 表

記 号	名 称	仕 様	電 動 機	台 数	備 考
R 1	ろ 過 装 置	形 式	逆洗カートリッジ方式 (1000L×24本)		
		ろ 過 能 力	80m3/h		
		ポ ン プ	片吸込渦巻形 1050L/min×19m	3.7kw 2台	2
		ろ 過 槽	PPGF/SUS 330φ×1350H×2塔 樹脂+SUS製		
		集 毛 器	318φ×125A×80A (SUS製スクリーン)		
		そ の 他	自動弁: 17駆動式1' 175イ井10個・電磁弁箱: 10連・コンレッチャー: 0.2kw オートレ付属		
		塩素滅菌器	ナビックス K T-MX型 (参考品番)	1φ 200V 470W	
			薬剤供給機: スクリューフィーダー		
			移送ポンプ: マグネットポンプ		
			薬剤投入部: ホッパー透明塩ビ製12L		
		制 御 盤	溶解タンク: 透明塩ビ製小判形2槽式13L		
			屋内ユニット組込型		

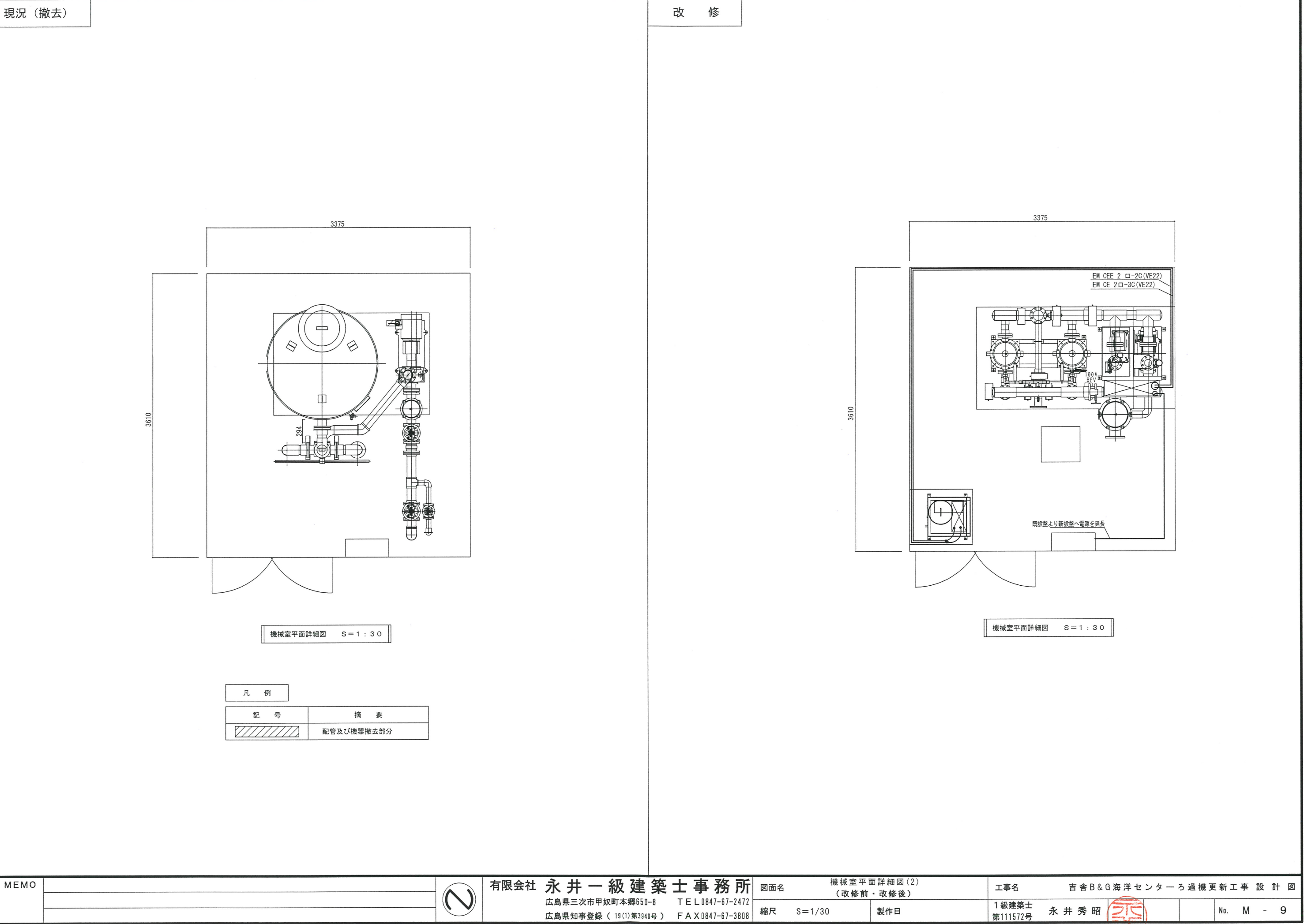
MEMO

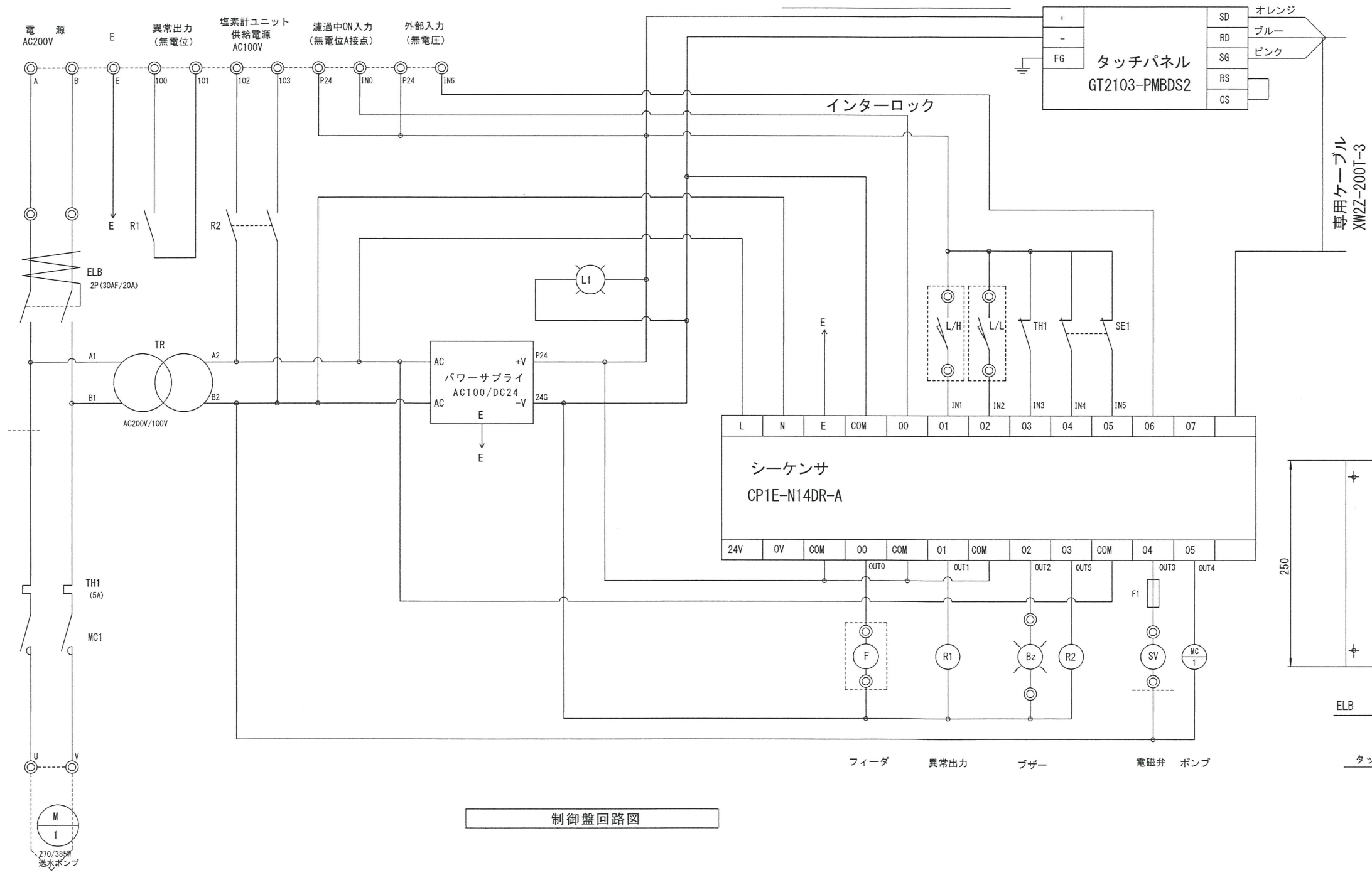
有限会社 永井 一級建築士事務所
広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472
広島県知事登録 (19(1)第3940号) FAX 0847-67-3808

図面名 機械室平面詳細図(1)
(改修前・改修後)
縮尺 S=1/30
製作日

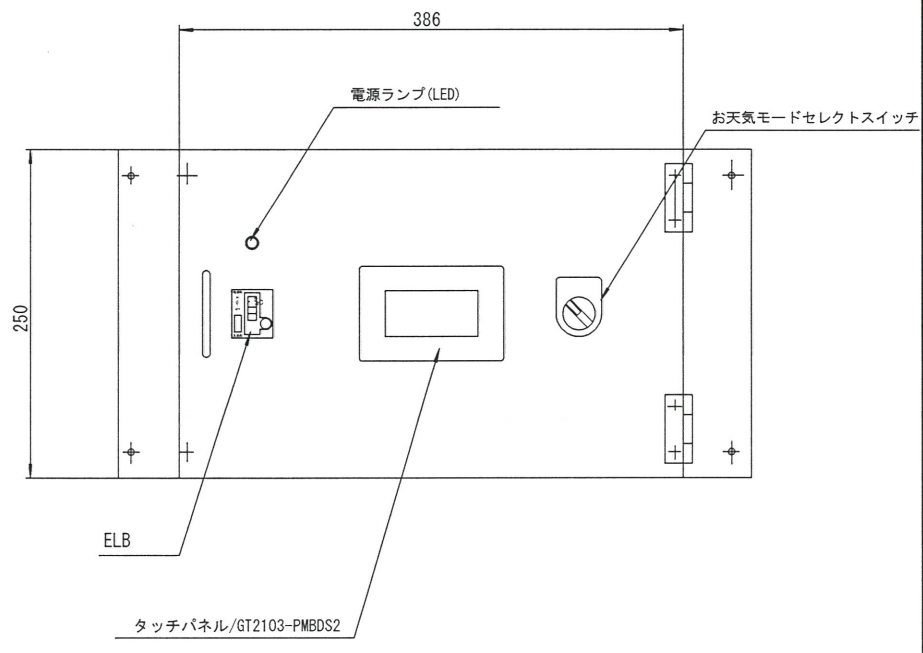
工事名 吉舎B&G海洋センターろ過機更新工事 設計図
1級建築士 永井 秀昭
第111572号

No. M - 8

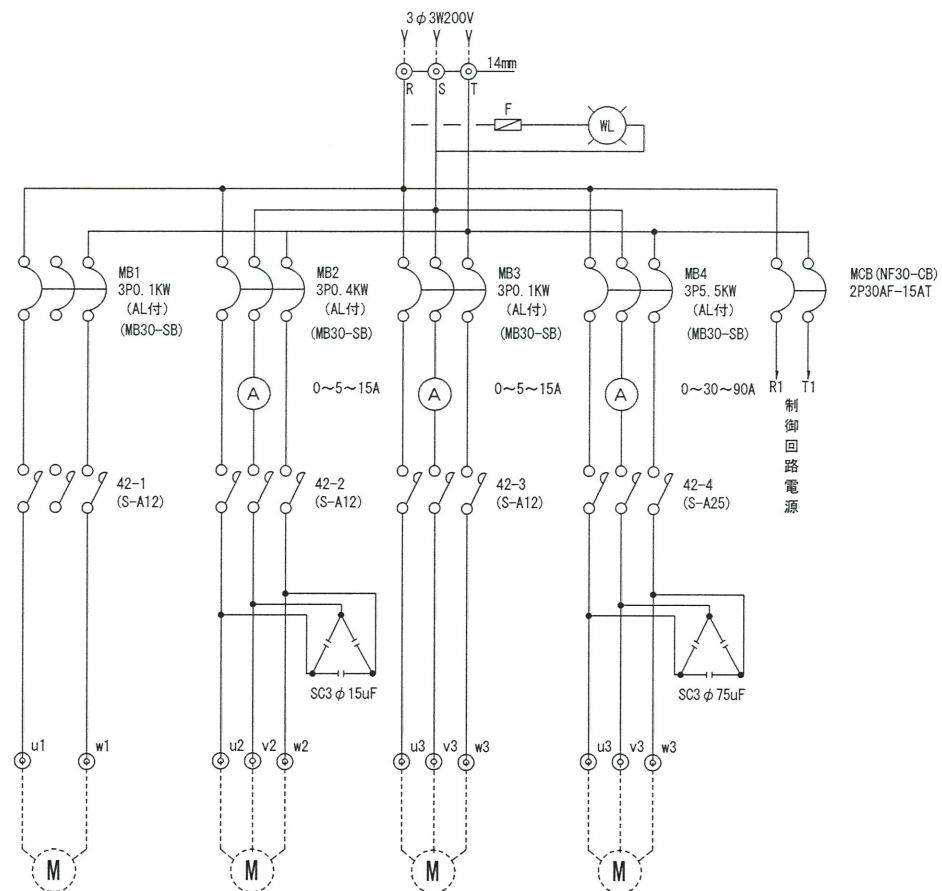




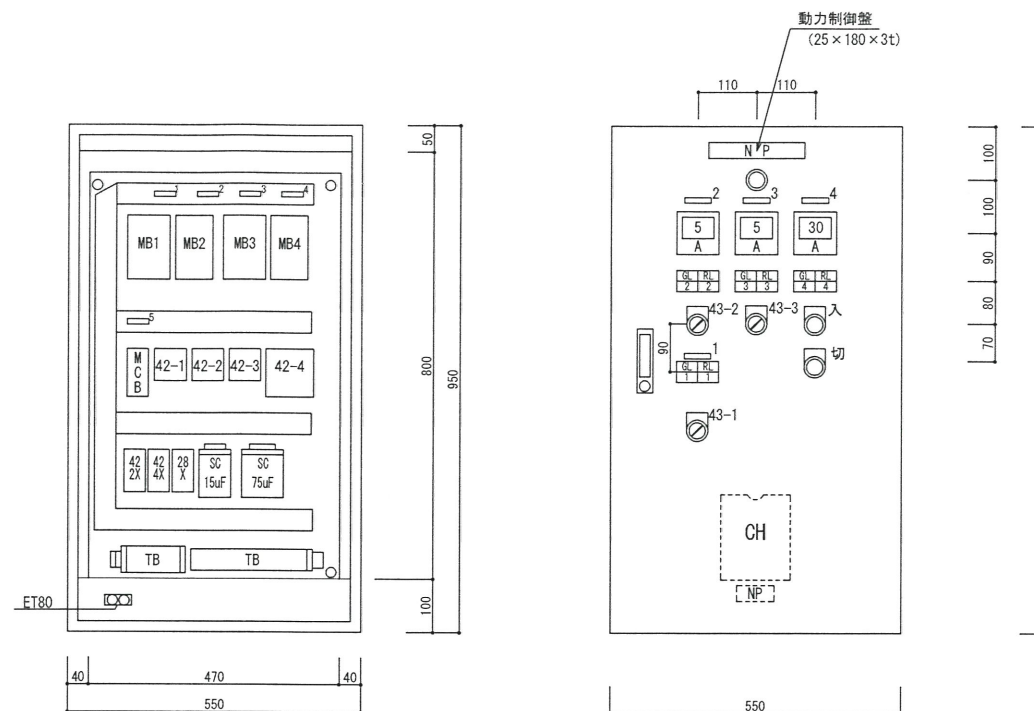
制御盤回路図



滅菌機タッチパネル図



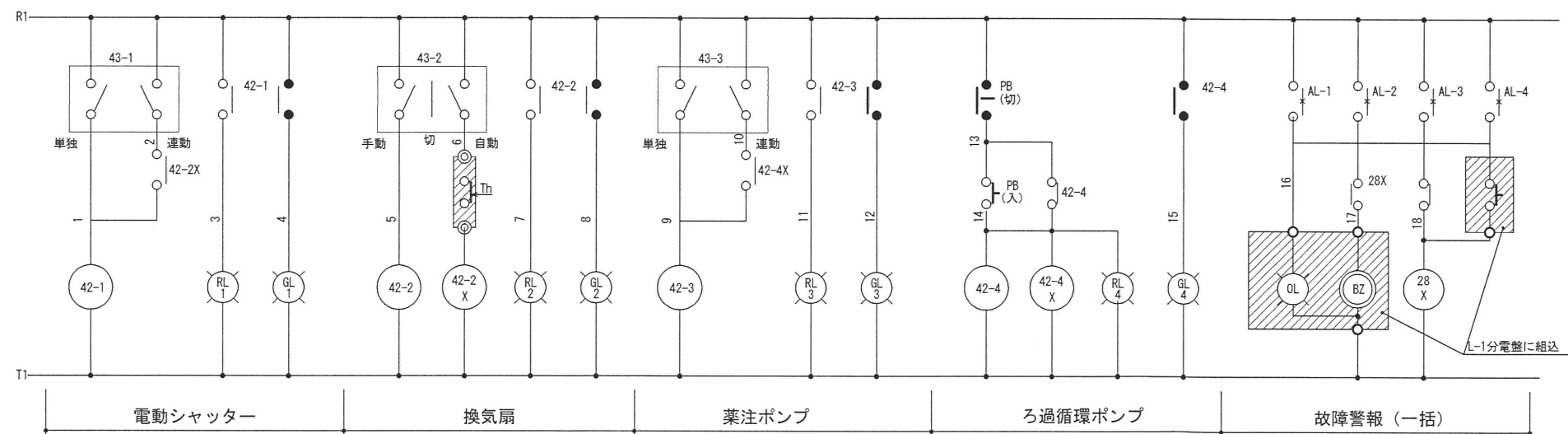
1φ 200V 30W	0.4KW	0.1KW	5.5KW
電動シャッター	換気扇	薬注ポンプ	ろ過循環ポンプ



CP-1 動力制御盤

NP (15×50×2t)	
1	電動シャッター
2	換気扇
3	薬注ポンプ
4	ろ過循環ポンプ
5	制御回路電源

CP-1 動力制御盤結線図



MEMO



有限会社 永井一級建築士事務所
広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472
広島県知事登録 (19(1)第3940号) FAX 0847-67-3808

図面名 CP-1 動力制御盤・動力制御盤結線図

工事名 吉舎B&G海洋センターろ過機更新工事 設計図

縮尺 S=1/100 S=1/10

製作日

1級建築士
第111572号

永井秀昭



No. M - 11